

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-19 交通環境整備事業 □支援部門				タイムスコード及び個別事業名		
	主管課	交通政策課		関連課		1029	交通環境整備事業
分野名	総合交通						
目標 (目標値)	自動車交通量を把握すること、鉄道輸送力増強促進会議への参加・支援を行うこと、及び交通需要管理施策を推進することにより、交通環境の改善を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	4,271千円	14,336千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	パークアンドライド、フリー 環境手形の利用者数	
	(負担金等)		9,870千円			評価	◎
	(一般財源)	4,271千円	4,466千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	1.1人	1.0人		目標値	実績値	
	人件費	9,884千円	9,502千円		20年度	23,500	23,431
	協働の パートナー	・交通事業者 ・交通管理者	・交通事業者 ・交通管理者		21年度	24,000	27,331
事務事業 運営経費	総事業費	14,155千円	23,838千円		22年度	28,000	
	市民1人当 りの経費	80円	135円		23年度	29,000	
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)	30,000	
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・パークアンドライド等のシステム利用者の向上・充実を図るため、システムの変更や新規の駐車場の確保等の課題があった。 ・七里ヶ浜駅バリアフリー工事実施の調整。 ・西鎌倉駅バリアフリー化工事に伴う地元、事業者、関係機関との調整。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・パークアンド等のシステム利用者の利便性向上のため、案内看板の整備や、利用情報を地域情報誌に掲載しPRに努めた。また、より利用し易いシステムとするため関係者との調整を行った。 ・七里ヶ浜駅バリアフリー工事は、計画の見直しを行い、駅施設内へのスロープ設置でバリアフリー化を図ることとした。 ・西鎌倉駅は、平成22年度の着手が決定した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・渋滞解消策の一つとして、平成13年度にパークアンドライドを実施し、その後、システムの変更や利用駐車場の拡大等から、年々利用者は増加している。しかし、交通量減少のためには、鎌倉地域への流入口での駐車場開設や観光地を周遊できるバス路線の設置等利便性の向上を図る必要がある。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・駐車場の確保は、長期的な課題として取り組んでいく、また、より利用し易いシステムとするため、交通事業者と協議を行っていく。 ・駅施設のバリアフリー化は、市民要望も強く、利便性・安全性の確保の点からも今後も計画的に取り組んでいく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	交通需要に見合った道路整備が難しい状況から、流入交通の抑制策として、交通需要管理や公共交通の充実にも今後取り組んでいく。駅施設のバリアフリー化は、計画的に取り組んでいく。		評価結果	改善の必要性	流入交通量の増減に伴う市民生活への影響や環境負荷などの課題に向け、交通環境の改善に取り組む。駅施設のバリアフリー化は、利便性・安全性確保のため計画的に進めていく。	
B	有			B	有		
課長名	交通政策課長 高橋一也			部名・部長名	都市整備部 山内廣行		